

平成 30 年度 教育指導におけるコミッショナー方針

ボーイスカウト福島連盟

県連盟コミッショナー

大槻 富寛

『活動的で自立したスカウトを育てよう』

スカウトプログラムには、想定やストーリーが必要だと言われます。その要素は「夢」「想像力」「友情」「勇気」「信じること」「冒険」「楽しさ」「感動」の8項目です。班制度、進歩制度と自然の中での活動を通じ、スカウトが自ら関わり、気づき、実行していくことで、自信を持ち、自分の資質が大きくなり、それにより自分を進歩・成長させていくのです。それがスカウティングです。

スカウト教育の充実を図る。キーワードは「取り戻そう」です。

- ① 班制度を取り戻す。
- ② 進歩制度を取り戻す。
- ③ 野外活動を中心にプログラムを展開する。

団の継続について。「やるか、やらないか」ではなく「今、やるんです」

今、県内の団の継続が危機的状況にあります。ビーバー隊がない団はビーバー隊を是非、発隊しましょう。指導者がいない等の問題もありますが、日本連盟は団再建の特別措置として今年度の登録審査時から、他団からの指導者の従登録が出来るようになりました。

集会場所や方法は、地区委員会のビーバー進歩部会(プログラム委員会)を中心に地区コミッショナーと協働して下さい。※みんなの知恵と経験があれば大丈夫です。※ビーバー隊の発隊と健全な隊運営は、組織拡充の点からも重要です。

ビーバー隊が活動している団は、健全な隊運営を継続できるよう、またスカウト全員がカブに上進するようなプログラムの研究をお願いします。

女性指導者の確保も大事です。保護者の口コミは、募集活動に有功な手段です。

団内に、スカウトの、にぎやかな笑い声を取り戻そう。